



見事な逆転チャンピオン #110



自己最高位 2 位 残すは頂点のみ #15



今季 3 回目の表彰台 #19



第 2 戦以来の出場は 4 位 #84

## 「OP」クラス（排気量区分なしのオープンクラス）

今回11台のエントリーを集めた排気量区分なしのOPクラス。タイトル争いは#6「ペنزフレミング シビック」が一歩リードそれを#110「アライメント浜松シティー」が追う展開。最終戦でのドラマはあるのか。

### ■予選

予選は#110「DXLアライメント浜松シティー」1'00.183 で全体の PP、1 分切りの目のタイムで逆転への意欲を見せる。コンマ95 差の 2 位には#6「ペنزフレミング シビック」が 1'01.133 でフロントローに並ぶ。予選 3 番手は、OP クラスでは少数派のトヨタ車で奮闘する#15「キチキチ キッシースターレット」1'02.642、その後ろには#19「YADOKARI シビック」1'02.839、ここまでが 2 秒台。

以下 5 番手#9「くねくね男前定食シビック」1'04.512、6 番手#5「マウンテン MMS 180SX」1'04.938、7 番手#56「RS 正和ナフティスターレット」1'04.949、8 番手#84「浜松日産 with メビウスマーチ」1'05.278、9 番手#20「久興自動車マイマイ MR2」1'05.542、10 番手#98「SDC 92 パンダレビン」1'16.778、11 番手の#53「MSCJ 奈良ランサー」はタイム計測ができず最後尾スタートとなった。

### ■序盤

首位は#110「DXLアライメント浜松シティー」でそれを#6「ペنزフレミング シビック」がピッタリマーク。このままいけば#6 がタイトルだが、1 時間経過付近で#6 がトラブルでピットストップ、なんとか復旧を試みる。タイトル戦線に暗雲か…一方レースの方は、#15「キチキチ キッシースターレット」が 2 位につけ悲願の初優勝を狙う。その後ろは混戦模様、#19「YADOKARI シビック」、#9「くねくね男前定食シビック」、#5「マウンテン MMS 180SX」、#84「浜松日産 with メビウスマーチ」などが上位を狙う。

下位グループでも#20「久興自動車マイマイ MR2」を先頭に遅れじとついていく。初出場の#53「MSCJ 奈良ランサー」と、56「RS 正和ナフティスターレット」はマシンにトラブルを抱えているのか周回数が伸びてこない。

### ■中盤

やはり復旧は無理だったか#6「ペنزフレミング シビック」がリタイヤ。これで#110「DXLアライメント浜松シティー」は 2 位以上なら逆転タイトルを手にするに。その上位争いは#110を追う2位争いが白熱#15「キチキチ キッシースターレット」と#19「YADOKARI シビック」が競り合いながらレースは進行。中団争いでも 1~2Lap のなかに各車がひしめき合い、抜け出すチャンスを狙っている。

### ■終盤

2 時間半での各車のラップを見てみよう、1 位#110「DXLアライメント浜松シティー」120Lap、2 位#15「キチキチ キッシースターレット」118Lap、3 位#19「YADOKARI シビック」117Lap、このあたりが表彰台圏内か。

4 位#84「浜松日産 with メビウスマーチ」114Lap、5 位#98「SDC 92 パンダレビン」114Lap、6 位#9「くねくね男前定食シビック」114Lapと同一周回。7 位#20「久興自動車マイマイ MR2」113Lap、8 位#5「マウンテン MMS 180SX」113Lapとわずかな周回差の中にひしめきあう、この混戦ぶりは今シーズンの OP クラスを象徴している。ほとんど差がない実にハイレベルな争いだ。

# Race Report

## ■最終結果

見事最終戦を制し、逆転でタイトルを手にしたのは#110「DXLアライメント浜松シティー」、今季2勝目はチャンピオンを決めるチェッカーとなった。2位は自己最高位で#15「キチキチ キッシースターレット」が入った。3位は実力派チームの#19「YADOKARIシビック」4位は#84「浜松日産 with メビウスマーチ」、5位#98「SDC 92 パンダレビン」、6位#9「くねくね男前定食シビック」、7位#5「マウンテン MMS 180SX」、8位#20「久興自動車マイマイ MR2」でここまでが完走。

## ■総評

シリーズチャンピオン争いでは、今シーズン3勝を絶対有利で乗り込んできた#6「ソーワエンジニアリング」のまさかのリタイヤでその争いに決着が着いた。耐久シリーズにおいてはリタイヤ無得点は禁物ということが改めて印象的なシーズンとなった。

しかしチャンピオンに輝いた#110「アライメント浜松」も2勝をあげた力のあるチーム。第4戦ではトップ走行中ゴール直前でトラブルに見舞われながらも完走というピンチを潜り抜けてのタイトルだけに嬉しさもひとしおだ。

年間3位には#15「キチキチ キッシースターレット」カムコレーシングが入った。ホンダ車中心のこのクラスにおいて少数派のスターレットターボを駆っての奮闘、優勝こそないがコンスタントにポイントを獲得した。来シーズンこそは悲願の表彰台の頂点を狙いたい。

実力派が集まるこのクラス、果たして来年はどんなドラマを見せてくれるのか、そのときまでしばしのシーズンオフとなる。



今季初参加で5位 #98



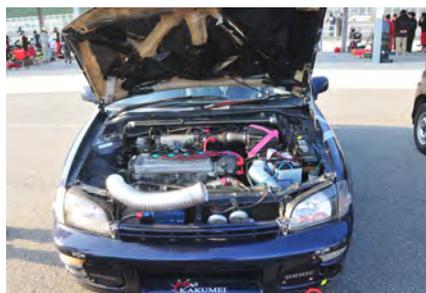
シリーズランキングは5位 #9



相変わらず迫力満点 #5



ターボ車は熱との戦いでもある #5



開幕戦以来の出場はリタイヤ #56



初参加は残念ながらリタイヤ #53